

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	公園課長	田沼 滋哉
都整-35 緑地維持管理事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	公園課
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	みどり	施策の方針
			都市公園等の整備・管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	防災に配慮しつつ、樹木伐採等を行うことにより、良好な緑地の維持管理を図るため。
効果	より適確な植生管理を行うことにより良質な樹林地の形成を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・緑地の枝払いや倒木の恐れのある樹木の伐採等を行った。 ・大雨等による災害を未然に防ぐため、落石防止網設置等の防災工事を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	32,179	当初予算(千円)	50,391	
	国県支出金		国県支出金		
	地方債		地方債		
	その他	8,478	その他	11,961	
	一般財源	23,701	一般財源	38,430	
	人員配置数	2.0	人員配置数	2.0	
	人件費(千円)	15,097	人件費(千円)	15,471	
	総事業費(千円)	47,450	総事業費(千円)	65,862	
事業経費運営	市民1人当りの経費(円)	268	市民1人当りの経費(円)	372	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-1. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
		△-2. 今後、市民等との協働による事業実施に向けた検討が必要である
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☐ a: 事業内容を見直す ☒ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	☐ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
予算規模の方向性	☒ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 防災に配慮しつつ樹木伐採等を行うことにより、良好な緑地の維持管理を図るため緑地維持管理事業を実施している。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	緑地面積は毎年増加しているが、経費は逆に削減されており、緑地維持管理の充実を図る必要がある。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	緑地面積は年々増加しており、樹林の適正な維持管理が困難になりつつある現状では、緑地の維持管理は主に隣接する住宅等の日常生活への影響に配慮した危険木の枝払い、伐採や除草等に終始している。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	緑地周辺住民からの要望は多種多様であるため、そのつど現地を確認し、緊急度に応じて臨機応変に処理するよう心がけた。	☐ 解決 ☒ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	緑地周辺の市民生活に支障が及ばないよう危険な樹木や崖に対する予防的な防災措置を計画的に実施する必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	伐採、枝払い等の要望件数に対する達成率					単位	%	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		家屋等に損害を及ぼす恐れのある危険な樹木は市民の日常生活に支障となるため。
	目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		100.0		
	実績値	81.8	63.8							
	達成率	81.8%	63.8%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30		H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	※26年度は「要望件数287件中、235件を実施」、27年度は「要望件数271件中、173件を実施」となっている。									

● 事業に関する特記事項

☐ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
--	---